

2002年2月の日本の天候

冬型長続きせず全国的に高温

天気概況

冬型の気圧配置は続かず、移動性高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多かった。上旬は移動性高気圧におおわれることが多く、日本海側を中心に晴れの日が多かったが、南岸低気圧の影響を受けた東・西日本の太平洋側や南西諸島では曇りや雨の日が多かった。

上旬の終わりから中旬前半にかけては強い寒気が南下し冬型の気圧配置が持続したため、日本海側を中心に雪や雨の日が、太平洋側では晴れの日が多かった。中旬後半から下旬にかけては移動性高気圧におおわれることが多くなり、ほぼ全国的に晴れの日が多かった。

上旬：南岸を低気圧が短い周期で通過し、その影響を受けた東・西日本の太平洋側や南西諸島では曇りや雨の天気が多かったが、その他の地方では移動性高気圧により晴れの日が多かった。冬型の気圧配置はほとんど現れず、全般に気温も高く経過したが、上旬の終わり頃に発達した低気圧が北日本を通過し、通過後に冬型の気圧配置となった。平均気温は、全国で高かった。降水量は、東日本太平洋側、南西諸島で多く、西日本太平洋側で平年並、その他は少なかった。

中旬：前半を中心に冬型の気圧配置が持続し、日本海側で雪や雨の日が、太平洋側では晴れの日が多かった。中旬後半には冬型の気圧配置が長続きしなくなり、高気圧におおわれて晴れて気温も上昇した。平均気温は、北日本は平年並、その他は低かった。降水量は、北日本で多く、東日本日本海側は平年並、その他は少なかった。

下旬：前半は移動性高気圧におおわれることが多く、全国的に晴れて気温の高い日が多かった。後半は南岸に前線が現れ、太平洋側を中心に曇りや雨となった。平均気温は、全国で高かった。降水量は、西日本日本海側で平年並、その他は少なかった。

2月の気候統計

平均気温：全国的に平年を上回った。東北、東日本、西日本では平年を1℃以上、北海道では平年を2℃以上上回った。特に北海道のオホーツク海側では平年を3～4℃以上上回ったところがあった。札幌など北海道内の9地点で月平均気温の最高値を更新した。

降水量：北海道のオホーツク海側、九州の一部で平

年を上回ったほかは、全国的に平年を下回り、特に東北の太平洋側、中国の瀬戸内海側、四国などでは平年の40%以下となり、さらに東北の太平洋側の一部では平年の10%以下となったところがあった。仙台をはじめ8地点で月降水量の最小値を更新した。

日照時間：北海道の一部、東南北部の一部、関東北部、甲信、東海などで平年を下回ったが、全国的に平年を上回り、特に東北の日本海側、中国の西部、九州、南西諸島などでは平年の120%以上となった。さらに九州南部と南西諸島の一部では平年の160%以上となったところがあった。長崎など11地点で月間日照時間の最大値を更新した。

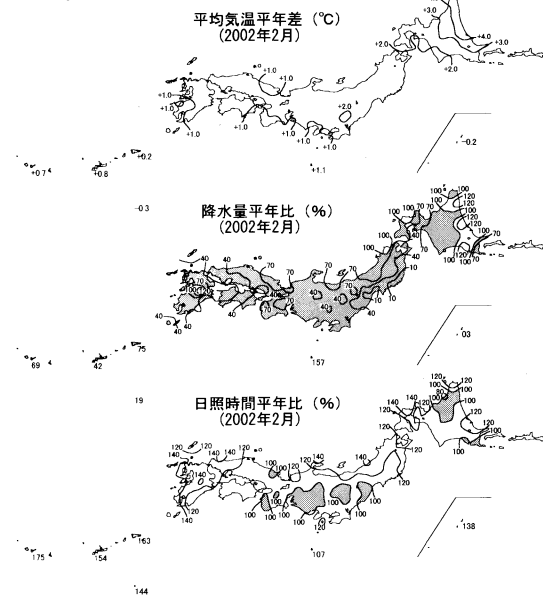
降雪・積雪：降雪の深さは北海道の一部で平年を上回ったほかは、全国的に平年を下回った。最深積雪は北海道の一部、東海、近畿で平年を上回ったほかは、全国的に平年を下回った。

(気象庁観測部統計室)

2月の記録 (1位更新のみ)

- ・月平均気温の高い記録 (℃)
札幌 -0.6 稚内 -1.0 他7地点
- ・月降水量の少ない記録 (mm)
仙台 1.5 福島 2.5 他6地点
- ・日照時間の多い記録 (時間)
長崎 155.5 枕崎 170.1 他9地点

2002年2月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す